

原稿内容確認書

広告内容をご確認いただき、ご返送くださいますようお願い致します。番号間違いにご注意ください。

株式会社タウンニュース社
鶴見区編集室

濱田 貴也

Tel 045-227-5050 Fax 045-227-5051

鈴木秀志 御中

掲載日	掲載版	面	サイズ
2017/06/15	鶴見区版	外面	10.2cm×5 段



モットーは「まかせて安心! いち守る!鈴木ひでし」。
第109代神奈川県議会副議長、県監査委員、公明党県議団団長などを歴任。現在、環境農政常任委員会、安全安心推進特別委員会に所属
HP <http://www.hideshi-suzuki.com/>

県政報告 ひでしの 「実績で勝負」^②

「施設児童の就労支援検討会」を実現

公明党 鈴木ひでし

「まかせて安心、いち守る鈴木ひでし」をモットーに活動を続けております。今回は、平成28年第2回定例会で私が提言した、「就職を希望する児童養護施設退所者と、理解ある事業主を結ぶ支援の取組」が、県主導で実現することになりましたので報告いたします。

「約7割が高校を卒業し、約7割が就職希望」と同時に施設を退所し、親からひどい虐待を受けた子どもたちは、家族に頼ることが難しく、大企業優位の就職活動となっていることや、住み込みで働ける企業は就労環境や職率の高さなどから、定着しづらいと聞いています。ですが一方で、私が知っている事業主の中には、退所者を理解し、受け入れてくれる方もいます。こうした背景の中、様々な課題を抱えた子どもが、自分ひとりの力で生活しなければならぬという現実に対し、行政の支援が十分ではないと感じていました。

支援スタート

県は平成29年1月、「施設退所児童のための就労支援検討会」を設置しました。これは、退所児童が地域社会で自立して生活を送っていくためサポートをしている団体と、ハローワークを統括する国の労働局をつなぎ、就労支援体制を構築するためのものです。すでに各団体と連携し、情報交換や就労支援対策の検討を開始しました。検討会では、施設退所児童の特徵や、配慮すべき点などについて、事業主へ理解してもらうための取組や、子どもを理解して安定して受け入れてくれる事業主の募集、施設退所児童とのマッチングのあり方などを検討しています。

私も、支援団体の視察や支援企業との意見交換などを行いながら、県の対策を注視してまいります。



検討会であいさつ

Web 掲載項目▶

鈴木秀志
 横浜市鶴見区豊岡町1 4-2 7
 045-580-2830 FAX:045-580-2831
<http://www.hideshi-suzuki.com/index.html>

店名・電話番号・営業時間等は必ずご確認ください。該当欄にチェックを入れ、ご署名の上期日までにご返送ください

- 訂正なし。印刷作業を進めて下さい
- 訂正有り。タウンニュース社で修正して印刷作業を進めて下さい
- 訂正有り。確認のため修正した原稿をもう一度送信して下さい

お客様
サイン

平成 年 月 日

●限られた日程の中で編集作業を進めておりますので、校正は原則的に2回までとさせていただきます。3回目以降の校正は有料になる場合がございます。●締切り日時までに掲載内容が確定しない場合、指定された発行日の紙面に掲載できませんので、指定期日までに必ずご返送くださいますようお願い申し上げます。●印刷作業に入りますと内容の変更や訂正ができませんので、入念なチェックをお願い致します。

弊社確認欄	出稿元	校了	責了点	A000671158-1
	編集担当者	入稿済	濱田 貴也	2017/06/12 14:16
	製作担当者	製作 (1)	水野 珠穂	2017/06/12 14:40